

# 横浜市立荏田東第一小学校

## 令和3年度 学力向上アクションプラン

### 1 学校の状況と地域の実態

- (1) 重点研究やメンターチームを中心とした教員の研究・研修が定着し、授業力の向上に努めている。
- (2) 個別に教育的支援が必要な子どもに対して、チームでの指導体制が取れており、児童支援専任・特別支援コーディネーター・通級指導教室担当職員との連携を図っている。
- (3) 地域とのかかわりを重視した学習を積極的に取り入れ、学校・家庭・地域との連携を図っている。
- (4) 経験の浅い教員が多く、指導技術をより一層身に付けていく必要がある。

### 2 中期学校経営方針「生きてはたらく知」 達成目標

#### 学力向上に関する指導の目標・方針

- 目指す資質・能力の明確化を意識した授業展開を図り、確かな学力の向上を目指す。
- 目指す子どもの姿を実現するため、本校の特色や地域の材を取り入れた教育課程の編成を行う。
- 児童一人ひとりが参加意識をもち、質の高い学びを通して、達成感が得られる指導を目指す。

### 3 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

### 4 令和3年度重点研究

主題：だれもが充実感・達成感を得られる学習のあり方（国語）

- ・「だれもが」…児童全員に対して目標とする結果を出すことを目指す
  - ・充実感…目標達成はできなかったけど「やりきった」「頑張った」「楽しかった」
  - ・達成感…「分かった」「できた」「もっとやみたい」「次も楽しみ」
- ※ 授業者が実践する授業における「充実感・達成感」の定義付けを行う
- ・協議の視点…①「だれもが」「充実感・達成感」を得られていたか、どうか

②どの手立てが有効であり、なぜ有効であったか



一般化しながら全職員で共有し、明日からの授業に生かしていく（研究成果）